

日誌

日誌 03月03日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	緊急避妊薬
	10:00	脳梗塞
	11:00	服薬指導
	12:00	休憩
	13:00	服薬指導
	14:00	調剤
	15:00	服薬指導
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月03日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 計数調剤 一包化 服薬指導</p> <p><実施した内容 ・調べたこと> 緊急避妊薬 脳梗塞 nsaidsの反対 レバミピド 主になる薬</p> <p><考察・感想></p> <p>今日の服薬指導では、抗うつ薬を服薬している患者さんと、脳梗塞の既往歴がある患者さんと、花粉症の患者さんの服薬指導をした。 午前中にお話し頂いた通り、心房細動が原因の脳梗塞であれば、抗血小板薬ではなく抗凝固薬が使われることが多い。今回の脳梗塞既往の患者さんはシロスタゾールを処方されていたので、動脈硬化が原因の脳梗塞だということが分かった。動脈硬化を発症し、血管が傷つくと、血小板血栓が生成され、抗血小板薬はこの働きを抑制することが分かった。 また、抗うつ薬を服薬している患者さんでは、息子さんが来局しており、実際の服薬状況を聞いてみて、どんなサポートができるか考えようと思った。</p>
----------	--

日誌

日誌 03月03日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月03日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	薬を割る時に破損してしまったので、破損ないように割る。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>少しお作法的な話になってしまうのですが、抗うつ薬を飲んでいる患者さんは症例数の精神疾患には当てはまらなかったでしょうか？</p> <p>この日の朝に抗凝固薬と抗血小板薬の違いについて話を簡単にしましたが、いわゆる薬理学を病態と絡めて処方解析をすることの復習になったのではないのでしょうか？</p> <p>ちょっとあまり聞かない話をする、知識のレベルというのがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・単純に知っている段階。すなわち想起レベル・知識を身の回りの出来事と意味付けする。すなわち解釈レベル・持っている知識を使って問題に対してソリューションを与える。すなわち問題解決レベル <p>今朝話した内容は、解釈レベルであると捉えてもらえると良いかもしれません。実習では主に解釈から問題解決が非常に重要になってきます。頑張ってください。</p> <p>智弘</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月04日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	タンパク質にとって大丈夫か
	10:00	栄養
	11:00	ミヤBMの勉強会
	12:00	休憩
	13:00	卸さんに電話
	14:00	調剤
	15:00	患者さんに電話
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月04日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 在庫管理 栄養剤の違い</p> <p><実施した内容・調べたこと> 中心静脈栄養 抹消静脈栄養 タンパク質 摂取基準量 卸さんに納期と値段を電話で確認 患者さんにご飯食べられているか電話</p> <p><考察・感想> 今日は、栄養剤を使いたい患者さんがいたので、 卸さんに電話をして、栄養剤の発注の確認した。 メイバランスとメチタスは、メイバランスの方がカロリーが高く、タンパク質は、 メチタスの方が多く含まれていた。今回、患者さんは、ご飯が食べられないと いうことと、腎機能が落ちている患者さんだったので、トータルで見ると、メイ バランスの方が良いのかなと思った。 また、患者さんの希望次第だが、cvポートがあるので中心静脈栄養に変更するこ とも可能性としてあることが分かった。 食事は生きる活力にもなると思うので、次回から「何なら食べられそうか？」や 「どんな味なら食べやすいか？」を一緒に考えて、患者さんに合ったサポートが できるようになりたいと思った。</p>
----------	--

日誌

日誌 03月04日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月04日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	患者さんに電話で情報を伝える際に、内容を誤って伝えてしまった。 次回からは、伝える内容を事前に間違えにくい方法で書き出しておく
添付資料	
薬剤師のコメント	この日は少し稀な体験をしていただいたかもしれません。 一面から見ると薬局も小売業と言う性質があります。通常であれば、ものの売り 解で利益を出していくことが大切になっていきますが、今回の患者さんにおいて は栄養剤が生命線となり得ると言う点があるので、利益度外視と言う動きをし ました。 つまり小売業であっても、医療に携わっていると言うところを忘れずにいること が大切なのかなと私自身も感じています。 智弘 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月05日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	点鼻方法
	10:00	服薬指導
	11:00	薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	在宅
	14:00	在宅
15:00	在宅	
	報告書	
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(10)名、高血圧症(10)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (11)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(10)名、糖尿病(0)名、心疾患(11)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月05日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 服薬指導 在宅 訪問 報告書作成</p> <p><実施した内容 ・調べたこと> 点鼻方法 アスピリン スタチン 代謝経路 ニトログリセリン注意事項 在宅 服薬確認 痛みの確認</p> <p><考察・感想></p> <p>今日の実習では、胸痛がある患者さんの服薬指導を行なった。以前から、ニトログリセリンを処方されており、今回、バイアスピリンとスタチンが新規で追加された。</p> <p>年末に胸痛が3回ほどあり、外で起こることが多いようだった。</p> <p>どこで発作が起こるか聞いたのは良かったと思うが、ニトログリセリンを常備してるか、どのような体勢（座って飲む）で飲んでいるか聞いた方が良かったなと思った。また、抗凝固薬や抗血小板薬の新規の服薬指導の際は、あざができやすくなったり、歯ブラシで出血しやすくなったり、手術の際や歯科受診の際に伝えることは必ず伝えなければいけないなと思った。また、コレステロールや血圧の値を聞いて、減塩、動物性脂質を避ける食事の提案などもっとたくさん言えることがあったなと思う。</p>
----------	--

日誌

日誌 03月05日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月05日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	在宅の患者さんとの別れ際にカジュアルすぎる言葉で話してしまった。線引きをして、敬意を持った話し方にしようと思う。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>おや、面白い振り返りですね。 すごく重要なことが書かれているような気がするのですが、、、</p> <p>日誌には備忘録と言う意味合いもあると思います。 うまくいかなかったことを細かく記録残すのは私も苦手なのですが、どんなところでカジュアルすぎると感じたのかだったり、どんなふうに敬意を持った言動に変えていこうと感じているのか記載するとより良いかもしれないですね。</p> <p>時間があるときに詳しく教えてくださいね。 智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月06日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	服薬指導
		薬歴
	10:00	pk/pd
		健康サポート薬局
	11:00	服薬指導
		薬歴
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	中澤先生
	15:00	調剤
16:00	フィードバック	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月06日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

共感の言葉と的確な情報提供

＜実習内容＞

服薬指導

計数調剤

＜実施した内容・調べたこと＞

抗菌薬 濃度 時間

糖尿病薬 腎排泄 インスリン依存

β遮断薬 併用

＜考察・感想＞

今日は、糖尿病治療中の患者さんが、ベッドに入ると低血糖症状が出るため、処方された薬を自己判断で中断していることを知った。しかし、患者さんは「お医者さんに申し訳なくて言えない」と感じており、医師への伝え方に悩んだ。薬を調節すると、夜の低血糖症状が落ち着くこと、患者さんが申し訳なく思っていることを伝え、薬の調節について先生はどういった考えか相談するのが良いかなと思った。

また、高血圧の患者さんの服薬指導では、食事や生活習慣の指導を行う際に、まずは患者さんがどのような生活を送っているのかを聞くことが大切だと感じた。アドバイスをする前に、患者さん自身の生活習慣を把握することで、より具体的な指導ができると考えた。

日誌

日誌 03月06日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月06日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	低血糖症状が出ている際に、患者さんのクレアチニンクリアランスを確認しなかった。腎排泄型の薬と肝代謝型の薬があるので確認するようにする
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月07日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	糖尿病ガイドライン
	10:00	調べ物
	11:00	水剤
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	服薬指導
		薬歴記載
	15:00	調剤
16:00	一包化	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(10)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(10)名	

日誌

日誌 03月07日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 服薬指導 報告書作成 水剤の調製</p> <p><実施した内容・調べたこと> レパグリニド 血糖値降下 IF ドアラセット 確認事項 食欲 排便 血糖値 下げすぎると虚血性心疾患 胸水 原因</p> <p><考察・感想> 今日の実習では、患者さんの治療評価について学んだ。特に、治療が適切に行われているかを判断する際には、ガイドラインを参照することが大切だと分かった。</p> <p>また、これまで血糖値を下げるのが良いと考えていたが、過度に低下させると、虚血性心疾患のリスクが高まることを知って、驚いた。</p> <p>また、オピオイドを服用している患者さんの報告書について学んだ。オピオイドの副作用として吐き気や便秘がよくみられるため、報告書作成時には食欲や排便状況の記録が特に重要であることを感じた。</p>
----------	---

日誌

日誌 03月07日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月07日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	水剤の取り扱いについて学び直す。特に、水で薄めて良いものと悪いものの違いを理解する。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月08日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月08日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

日誌

日誌 03月08日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月08日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月09日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 03月09日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

日誌

日誌 03月09日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月09日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	